

令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
第4ブロック研修会 次第

令和5年10月6日(金) 午後2時～午後4時
東久留米市立生涯学習センター 集会学習室1・2

研修会 テーマ「地域資源を活用した協働活動の実情と地域をつなげる人材について」

1. 開会

開会のことば

東久留米市社会教育委員会議

菅 沼 議 長

主催者挨拶

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

篠 崎 会 長

開催市挨拶

東久留米市教育長

片 柳 教育長

2. 開催市事例発表

「東久留米市の地域資源を活用した学校との協働活動について」

東久留米市社会教育委員会議

菅 沼 議 長

3. 講演

(事例1)「東久留米・川クラブの活動及び学校との協働について」

東久留米・川クラブ

荒 井 代 表

豊 福 氏

(事例2)「東久留米市立第五小学校PTA並びにお父さんの会の活動

及び学校との協働について」

東久留米市立第五小学校PTA

榊 原 代表担当

4. グループワーク (自己紹介及び各市の事例を情報交換)

グループの好事例、気になった事例を発表 (お一人3分程度)

5. 閉会のことば 東久留米市社会教育委員会議 副議長

行事等結果報告

社会教育委員の会議
令和5年10月19日
地域学習支援課

1 行事名	令和5年度 非核平和学習事業 「小・中学生広島平和学習」、「原爆写真パネル等展示」、 「被爆体験者の講演」
2 開催年月日等	1 広島平和学習 8月5日(土)～6日(日) 2 パネル等展示 8月15日(火)～20日(日) 3 被爆体験者の講演 8月19日(土)
3 内容	1 小・中学生広島平和学習(10回目) 小学校6年生から中学生までの10人を1泊2日で引率した。 <ul style="list-style-type: none"> 5日：原爆ドーム・慰霊碑・原爆の子の像(折り鶴を捧げる)・ 広島平和記念資料館等見学 6日：広島平和記念式典出席・献花 引率者は5人、うち青少年委員1人、看護師1人。 2 原爆写真パネル等展示(14回目) 中央公民館ギャラリーにて、広島平和記念資料館から資料を借り受け展示、上映を実施した。 ・「サダコと折り鶴パネル」及び「子どもたちの平和ポスター」を展示。 ・広島市立基町高等学校の生徒と被爆体験証言者との共同制作による「原爆の絵」をギャラリー外の廊下側に展示。 ・記録映画「ヒロシマ・原爆の記録」、「ヒロシマ・母たちの祈り」、アニメ「つるにのってーとも子の冒険」、「はとよひろしまの空を」、「太陽をなくした日」、「アマイとサダコの祈り」を上映。 3 被爆体験者の講演(12回目) 講師 田中美光さん(小平市原爆被爆者の会会員) 体験談50分、「小・中学生広島平和学習」参加者の報告15分、懇談・質疑20分
4 主催	小平市教育委員会
5 参加者数	1 広島平和学習 10人(小学生1人、中学生9人) 2 パネル等展示 529人 (大人 男194、女231、子ども 男58、女46) DVD 96回上映 3 被爆体験者の講演 44人
備考	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和5年10月19日
地域学習支援課

1 行事名	令和5年度 青少年健全育成講演会
2 開催年月日等	令和5年11月7日(火) 午後3時～4時(予定)
3 会場	中央公民館 ホール
4 内容	<p>「ヤングケアラー」とは ～地域の子どもたちのために、地域ができることを考える～ 講師：森山 千賀子 氏 白梅学園大学 子ども学部 家族・地域支援学科 教授</p> <p>「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもとされており、責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあるといわれている。</p> <p>今回の講座では、「ヤングケアラー」について学び、どのようなサポートが必要なのか、私たちに何ができるのかを学ぶための講座を開催する。</p>
5 主催	小平市教育委員会
6 参加者数 (前年実績)	<p>81人(予定)</p> <p>小平市青少年対策地区委員会関係者 19人 地域教育・放課後子ども教室関係者 62人(48+14) 一般</p> <p>〔17人〕 小平市青少年対策地区委員会関係者 13人 地域教育・放課後子ども教室関係者 4人</p>
7 特記事項	本講演会は、青少年対策地区委員会代表者協議会研修と兼ねて行う。また、地域教育及び放課後子ども教室のコーディネーター等の研修としても位置付ける。
備考	

行事等結果報告

社会教育委員の会議
令和5年10月19日
中央公民館

1 行 事 名	公民館主催イベント（8月）
2 開催年月日等	「友・遊こどもまつり」 令和5年8月26日（土）
3 会 場	中央公民館
4 内 容	<p>地域における多様な主体と連携し、様々な体験プログラムを提供した。また、公民館への新規来館のきっかけづくりとなるよう、音楽会や講演会等を同時開催した。</p> <p>参加者数 654人 講師・ボランティア 139人</p> <p><主な体験プログラム> 「ビーズでおしゃれなブレスレットをつくろう！」「拓本（たくほん）に挑戦しよう！」「絵手紙をつくろう！」「ハンドメイドを体験しよう！」「むかし遊びを体験しよう！」「ジュニアクッキング ひまわりの練り切りをつくろう！」「ドイツゲームで遊ぼう！」「Nゲージを走らせよう！」「ポッチャをやってみよう！」「シークレットブック、読みきかせ」「紙芝居と大きな絵本の読み聞かせ」「縁日（スーパーボールすくい等）」「白バイとパチリ」。</p> <p><音楽会・講演会・映画会> 音楽会「音楽と笑いのエンターテイメントを楽しもう」 229人参加 講演会「バルーンアートのセカイに飛びこもう」 60人参加 子ども映画会「トムとジェリー」等 32人参加</p>
5 特 記 事 項	<p>令和2年度 中止</p> <p>令和3年度 Zoomを活用した体験の参加者数76人</p> <p>令和4年度 Zoomを活用した体験の参加者数15人</p>
備 考	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和5年10月19日
中央公民館

1 行 事 名	公民館主催イベント（10月、11月）
2 開催年月日等	①「上水南公民館まつり」 10月21日（土）、22日（日） ②「花小金井北公民館まつり」 10月28日（土）、29日（日） ③「中央公民館サークルフェア」 11月3日（金）、4日（土） ④「小川公民館まつり」 11月4日（土）、5日（日） ⑤「津田公民館まつり」 11月18日（土）、19日（日） ⑥「鈴木公民館まつり」 11月25日（土）、26日（日）
3 会 場	①上水南公民館、②花小金井北公民館、③中央公民館、④小川公民館、 ⑤津田公民館、⑥鈴木公民館
4 内 容	①②④⑤⑥ 分館まつりについて 公民館活動団体の成果の発表、及び地域のコミュニティづくりの場として、まつり実行委員会等との共催により実施する。公民館利用団体による展示・舞台発表、音楽会や落語会の開催、模擬店の出店などが行われる他、小・中学生による展示や実演等も予定している。 ③ 中央公民館サークルフェアについて 中央公民館サークル、及び、今後に仲間を集めて中央公民館でサークル活動を始めたいと思う方々が、活動のPRを行う「サークル見本市イベント」として開催する。現時点で39団体が参加を予定している。 また、公民館サークルによる展示や舞台発表等が行われる他、講演会、映画会、工作教室等も予定している。
5 主 催	①上水南公民館、②花小金井北公民館、③中央公民館、④小川公民館、 ⑤津田公民館、⑥鈴木公民館
6 特 記 事 項	令和元年度 6館合計の参加者数7,629人 令和2年度 中止 令和3年度 中央公民館サークルフェアのみ開催。参加者数937人 令和4年度 6館合計の参加者数2,558人
備考	

第4次小平市子ども読書活動推進計画 令和4年度進捗状況の概要

1 計画について

(1) 計画の位置付け

第4次小平市子ども読書活動推進計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の第9条第2項に基づく計画であり、「小平市教育振興基本計画」及び関連する個別計画との整合を図りながら、子どもの読書活動の推進に向けた施策の基本的方向を示すものとして策定している。

(2) 計画の目的

0歳から18歳までの子どもの読書活動を推進するために、家庭、学校、地域、図書館等が連携しながら子どもが読書に親しめる環境の整備を総合的、計画的に推進することを目的としている。

(3) 計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

2 進捗状況について

(1) 構成及び施策

42の施策項目は、所管や対象者によって「家庭における読書活動の推進」、「学校等における読書活動の推進」、「図書館・地域における読書活動の推進」の3つに分かれている。

活動分野	主な施策	項目数
家庭における読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児とその保護者へのサービス ・ブックスタートの実施 ・図書館における行事の定期的な開催 ・これから子育てをする方へのサービス 	6
学校等における読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館指導年間計画の作成と実施 ・学校における市立図書館資料の活用 ・小・中学校に対する学校図書館協力員の配置・研修 ・特別な支援を必要とする子どもへの読書活動の支援 	15
図書館・地域における読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学時における図書館案内 ・小・中学校向けの夏休みおすすめ本リストの作成・配布 ・市内小・中学校におけるブックトークの実施 ・職場体験・奉仕体験・インターンシップや実習生受入れ ・児童館・学童クラブ等における読書活動の推進 ・放課後子ども教室における読書活動の推進 ・児童文学講演会の開催 ・リサイクル本の提供 ・特別な支援を必要とする子どもへの読書活動の支援 ・啓発・広報（ホームページの充実） ・ティーンズ委員会の開催 ・情報リテラシーの支援 ・アーカイブの利活用促進 	21

(2) 令和4年度実績

令和4年度は、第4次計画の3年目であるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、引き続き多くの事業を中止・縮小をせざるを得なかった。

本計画の5年間では、新しい小川西町図書館の設計について利用者や運営側の観点を取り入れて居心地の良い施設の実現を目指していくことや、学校図書館との連携を推進すること、またイベントについては感染症対策に配慮しながら開催していくなど、子どもの読書環境の整備に努める。

3 計画の検討体制と今後の予定

(1) 検討体制

令和4年度の進捗状況の報告及び情報共有を令和5年7月に庁内の「小平市子ども読書活動推進計画検討委員会」において行った。

(2) 今後の予定

教育委員会で報告	令和5年9月21日(木)
市議会議員へ情報提供	令和5年9月29日(金)
図書館ホームページでの公表	令和5年9月29日(金)

資料No.6-2_第4次小平市子ども読書活動推進計画

以上の資料は、市ホームページの掲載ページをご覧ください。

行事等結果報告

社会教育委員の会議
令和5年10月19日
中央図書館

1 行事名	<p>図書館主催イベント（7月～9月）</p> <p>① よるのおはなし会 ② 夏休み家族一日図書館員 ③ 中・高校生向け図書館ボランティア体験 ④ 絵本の読み聞かせ実践講座 ⑤ 大人のためのおはなし会</p>
2 開催年月日等	<p>① 令和5年7月19日(水)～8月24日(木) 全8館 各1回 ② 令和5年8月3日(木)～16日(水) 全8館 各1回 ③ 令和5年8月23日(水) 中央図書館 ④ 令和5年9月7日(木)・14日(木) 全2回 中央図書館 ⑤ 令和5年9月9日(土) 中央図書館</p>
3 会場	中央図書館及び地区図書館他
4 内容	<p>① 夏休みの夜に行う少し怖いおはなし会。おみやげとして各館で手作りのプログラムカードを配布。参加者：4歳～小学生及び保護者 計270人</p> <p>② 家族で図書館の仕事を体験し、図書館の仕組みや役割、利用方法を理解する。参加者：小学生とその保護者 計10家族25人</p> <p>③ 図書館への理解や興味を持ってもらう機会とし、図書館で働くために役立つ情報の紹介も行う。参加者：5人</p> <p>④ 大人数の子どもたちに向け絵本を読んで、楽しんでもらう方法について、実践を交えて学ぶ講座。参加者：各回11人</p> <p>⑤ 普段は子どもが聞いているおはなし会に大人が参加することで、子どもの豊かな想像力や本への興味について理解を深める。参加者：9人</p>
5 主催	小平市教育委員会
6 特記事項	
備考	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和5年10月19日
中央図書館

1 行 事 名	東京文化財ウィーク 2023 講演会「小平の神社の歴史」と 企画展示「小平の神社とお寺」
2 開催年月日等	講演会 令和5年10月21日(土) 午後1時30分～3時 企画展示 令和5年10月21日(土)～12月20日(水)
3 会 場	講演会 中央図書館3階視聴覚室 企画展示 中央図書館2階展示ギャラリー
4 内 容	講演会「小平の神社の歴史」 内容：小平にある神社の歴史などを写真、資料、こいだいらデジタルアーカイブを紹介しながら解説する。 講 師：柏木 亨介氏（國學院大學神道文化学部助教）（元小平市史編さん調査専門委員） 定 員：50人（先着順） 申込み：10月1日（日）午前10時から電話または中央図書館カウンターで受付。 募 集：市報（9月20日号）、小平市図書館ホームページ、ポスター、チラシ、メールマガジン、市内高等学校へのチラシ配布 企画展示「小平の神社とお寺」 内容：江戸・明治期の古地図や古文書などを展示する。 ※東京文化財ウィーク：東京都教育庁が主催する企画事業 企画事業の期間：10月1日（日）～11月30日（木）
5 主 催	小平市教育委員会
6 特 記 事 項	
備 考	